## 5.15 沖縄平和行進開催





子供達か手を振って鼓舞してくれた。 使命感を帯びた仲間達のその一歩一歩には力強さを感じた。

視察では沖 縄戦で実際に 起こったことに ついて書かれ

た資料や米軍のカメラによる映像、 生き残った民間人の方々の証言の映像などを目の当たりにし、戦争の悲惨さを痛感し、今ある平和を大切にしていかなければならないと決意を新たにしました。 戦後の平和な時代に生まれた私にとって沖縄 戦はどこか現実味がなく、また、基地問題に ついても基地のある風景、ヘリコプターや戦 闘機が騒音を立てながら飛行していることが

当たり前で、この現状が変わることはないと諦めてしまい、興味・ 関心を持たず、何も感じないようにしていたことに気付きました。 ただ、平和行進に参加することがなければ沖縄について考えることも、 また自分自身を見直すこともなく、ずっと無関心のままだったと思います。 今回の平和行進を通して、色々な気付きや以前とは違った考え方を持て たことは私にとって非常に良かったと思います。 「平和の反対は戦争ではない、平和と戦争に対する無関心である。」 米軍基地を視察しに

行った際、悠然と人々の頭上を飛行する危険な 米軍機を見て、更なる学習や団結をして抜本的に 政治に対しメスを入れていかなければならない。 過去の歴史から学び、戦争の無い、必要と しない世の中を後世に残す、そんな平和活動 をこれからも続けていきたい。



第0049号 2023年6月15日発行 全日本港湾労働組合 発行日: 随時

